

生きる力にアクセス



2022年度 活動報告書

一人ではどうにもできない貧困、
だから一緒に変えていく。

We walk together toward
the world without poverty.





子どもに教育を受けさせたい。
できれば自分で稼いで
家族を養いたい。

34年の活動の中で出会った、数百人のお母さん・お父さんたちの共通の願いは、「子どもに十分な教育を受けさせること」でした。「仕事がほしい、自分で稼いで子どもに教育を受けさせたい」と話す人にもたくさん出会ってきました。

仕事があれば、その収入で三食食べられ、
子どもを学校に行かせられる。
病气やけがをしても、病院に行ける。
そうした子どもや自分の願いを自ら叶えることができ、
「援助されることへの申し訳なさ」を感じる必要もない。

そんな願いに応えるべく、私たちはずっと
「子どもに教育、女性に仕事」を届けることを
活動の中心に据えています。

“ 一人息子を育てていて一番辛い瞬間はね、
お腹をすかせて泣く息子に、ゴミ捨て場から拾ってきた残飯を食べさせるしかない時。
病気になるリスクを知らながら、それ以外に何も用意してあげられない時。

都市スラムに暮らす女性アンジーの言葉です。

大切な人を守るどころか、危険にさらさざるをえない悔しさ。
ふがいなさ、無力感、怒り、絶望、自責。
胸が詰まるような想いに押しつぶされそうになりながら、
人々は貧困と闘い、日々を生きています。

「泣いてたって問題はなくならないでしょ。
だったら、ジョークの1つでも言って笑ってた方がいいよね。」

アンジーと同じスラムに暮らす女性たちは、そう言って笑いました。

笑顔という鎧で心を守りながら生きる人びととともに。
私たちは、貧困の痛みを軽減させる活動を、35年間、続けています。



「力をつける」 アクセスの3つの活動



1. 子どもに教育を

4人に1人が小学校さえ卒業できないフィリピン。アクセスは、都市スラムと農漁村で、小中高校を卒業するための教育支援プログラムを実施しています。

2. 女性に仕事を

フィリピンの貧困層の大半は農漁村に暮らすと言われ、仕事を求めて都市部へと移り住む人々が後を絶ちません。住み慣れた地元で家族と一緒に暮らしたいと願う女性や若者を対象に、フェアトレードでの仕事を創出しています。

3. 日本の若者に成長の場を

どうして貧困は生まれてしまうのか？
貧困の原因を探りながら、解決のために行動する人を増やすことも大切です。スタディツアーやインターンシップ、ボランティア、講演、イベントなどを通して、日本の若者のアクションを後押ししています。



フィリピン共和国

広さ： 日本から北海道をのぞいたくらい
人口： 1億903万人 世界13位
言語： 80以上
公用語： フィリピン語、英語
宗教： 90%以上がキリスト教徒

出典：日本政府外務省

GDP成長率： 5.7% (2021年)
識字率： 96.5% (2019年)
小学校入学率： 89.1% (2020年)
小学校卒業率： 82.5% (2020年)

出典：フィリピン統計局

成長するフィリピン経済と、広がる格差

この20年でフィリピンの都市部の暮らしは大きく変化しました。年6%前後の経済成長が続き、ショッピングモールや新車が増え、スマホを片手にスターバックスを楽しめる中流層が増えました。その一方で、貧富の格差は拡大を続けています。コロナ禍の経済停滞とその後の物価上昇の影響で、最貧層24%の暮らしは改善するどころか悪化しており、改善傾向にあった小学校就学率や卒業率は、近年悪化しています。

京都生まれのアクセス、 どうしてフィリピンで活動するように？

アクセスが活動を始めたのは1988年。京都のお菓子メーカーの社会貢献活動の一環として始まり、当初の活動は、日本に暮らす外国人の方々へのサポート活動が中心でした。創設者の一人がフィリピン人だったこともあり、90年代に入ってからフィリピンでも活動するようになりました。

生きる力・変える力を伸ばす

私たちがいつも大切にしているのは、「アクセスが、モノ・カネを提供するだけの存在になってしまわないこと」です。貧困や権利侵害に苦しむ子ども・若者・女性たちが、自らの力でしんどさから抜け出せるように。苦しむ人を減らしたいという私たちの願いが、貧困を生み出す構造を変える力となっていけるように。一人ひとりの中にある、「生きる力・変える力」を引き出すことを、何より大切にしています。



アクセスの 3つの活動

1 子どもに教育を



320人に
学びのチャンスと生きる力を

▼就学サポート

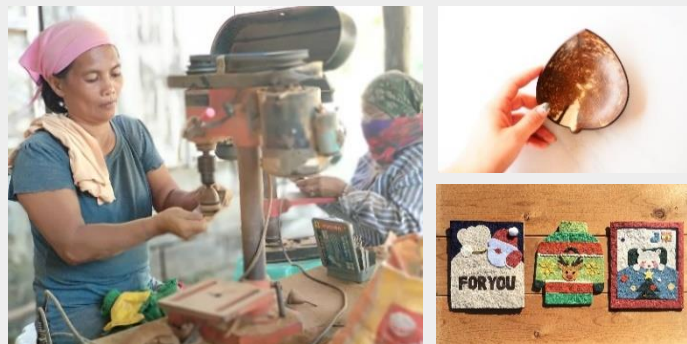
貧困家庭の子どもたちに、制服・靴・カバン・文房具などを現物支給。学校に収める諸費の一部も提供し、経済的理由での中退を防いでいます。

▼子どもの権利を知り、生きる力を伸ばす

体罰・いじめ・児童労働・育児放棄などは、子どもの権利侵害。子ども自身に権利を知ってもらうとともに、つらい・苦しいを言葉で表現できるようになるための訓練をしています。子どもたちの保護者を対象に、子どもの権利を尊重した子育ての仕方を学ぶセミナーも継続的に開催。地域の大人が協力し、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに取り組めるようサポートしています。

■詳細はP5-6に

2 女性に仕事を フェアトレード



お米**89kg**相当の収入に

▼仕事のチャンスと稼ぐ力

「働きたいけど仕事がない」と、もどかしい思いをしていた農村の女性や若者たちは、フェアトレード事業に参加することで、手作り雑貨を生産するスキルを習得。8名がフェアトレード生産者として働き、月3,580ペソ（約9,000円／米89kg相当）の安定収入を得ています。「夫の稼ぎと合わせることで、子どもを学校に通わせられるようになった」といった声が届いています。

▼スキルへの誇りと自信

日本のお客さまから高く評価いただけてきたことで、生産者は自分のスキルに誇りを持てるようになりました。また、自ら稼げるようになったことで、「家計の重要な話し合いで自分も意見を言えるようになった」と話す女性もいます。

■詳細はP7に

3 日本の若者に 成長の場を



年**200人**以上の若者が参加！

▼オンライン＆対面スタディツアーに163人

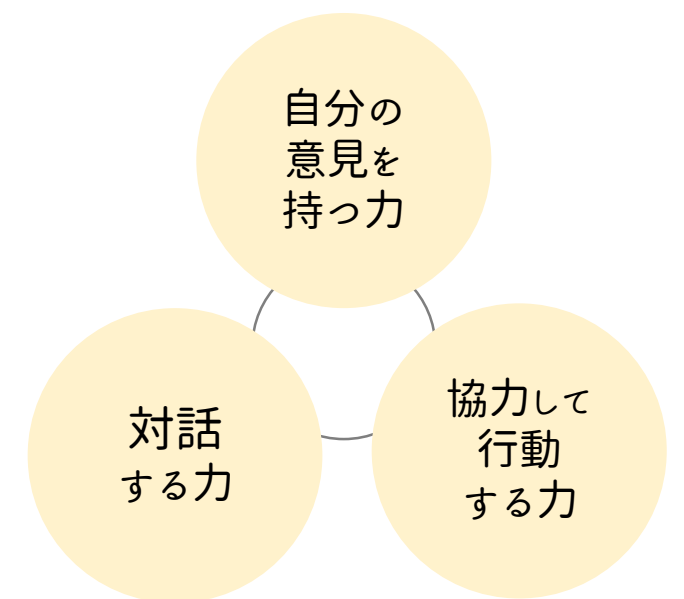
都市スラムなどをバーチャル訪問して「貧困の中で生きる人々の本音」を聞くオンライン・スタディツアーを継続開催するとともに、2023年1月以降は対面のスタディツアーも再開。貧困の中で生きる人々のリアルな現状を知り、貧困が生まれる構造や自分にできるアクションについて意見交換しました。

▼各国から参加のインターンシップ

貧困の現状を知るだけでなく、変化を起こすために行動したいという若者を対象に、オンラインと対面でのインターンシップを継続。アルゼンチンに留学中の大学院生や高校生を含む、多様なメンバー17名が参加し、フィリピンの子どもたちや女性を応援するプロジェクトを企画・運営しました。

■詳細はP8に

アクセスが考える
「生きる力・変える力」



- ✓ 安心してすごせ、本音で語り合える場や関係性をつくることで、自分たちの手で問題を乗り越えていける力を伸ばします。
- ✓ 支援する側・される側を固定せず、つながりと協働のなかで、互いの力を伸ばし合う関係を大切にします。



子どもに教育を

アクセスの子どもプログラム

貧困家庭の子どもが
小中高校を卒業できるように、
また**子どもの権利**が侵害されることなく
安心してのびのびと成長できるように、
日本のサポーターさんと一緒に
支援する、教育里親制度です。

継続して成長を見守れる、一対一のサポート



- ✓ 子どもサポーターの方からのご支援で、フィリピンの子ども一人が一年間、学校へ
- ✓ 応援してくれるサポーターの存在が、学び続ける上での励みに

1997年から3000人以上をの就学をサポート！

プログラムの3つの柱

1 就学サポート
通学に欠かせない制服・カバン・文房具などを現物で支給。学校に支払う諸費の一部を現金で支給しています。

2 土曜や夏休みの補習授業
いじめや虐待、児童労働といった子どもの権利侵害から身を守るよう、子どもの権利を学ぶワークショップを実施しています。ゲームやロールプレイなども交えて楽しく学んだあとは、健康面に配慮した軽食も提供しています。

3 保護者セミナー
保護者や地域の大人を対象に、子どもの権利を尊重した子育ての仕方学ぶセミナーを開催。子どもたちがSOSを出してくれた時に、大人が協働して子どもの権利を守る環境づくりに取り組んでいます。

見に来てください！
動画や記事



YouTube 上で、
「アクセス事務局」と検索！



／おススメ動画／
【NGO代表と語る】
子どもサポーターになってみた！本音トーク

2022年度は
320人の
学びをサポート！

41人が小学校を卒業

都市スラム 小学生90人
農漁村 小学生200人／中学生30人

【都市スラム】
マニラ市
トンド地区

【農漁村】
アラバット島
ペレーズ地区

アクセスの
2つの事業地

コロナ禍の影響で、 子どもたちの読む力が…

コロナ禍の中、フィリピンでは子どもたちの外出が厳しく制限され、全学校で対面授業が停止。学校から配布されたプリント教材を使って自宅勉強する期間が2年も続き、全国的に子どもたちの読む力が低下していると問題視されてきました。アクセスの事業地では119人もの子どもたちが読む力不足に。2022年度は、補習授業の時間を活用して音読練習をサポート。学校での補習の効果も合わさって、2023年10月現在では読む力不足の子どもの数が31人にまで減りました。

フィリピンから届いた声



農漁村在住の奨学生
マイケルさん

おやつを海に獲りにいったり…

学校の休み時間は友だちとおしゃべりをして大笑いし、授業の後は海に行っておやつを獲るとったりしてすごしています。家では、姉が掃き掃除、僕は皿洗い、兄は水汲みを担当していて、父が調理をしてくれます。大好きなサポーターさんからお手紙が届くと、とってもうれしいです。



アクセス・フィリピン
都市スラム担当
ジェリック・ララ

NGOの本当の役割とは

NGOとは、お金や物を提供してくれる存在だ、と考える人が少なくありません。でも、それは誤解です。僕らの本当の役割は、貧困の中で生きる人々自身が自らの手で現状を変えていけるようにすること。人々の中にある力を引き出し、背中を押すことです。

本プログラムは、子ども教育サポーターの皆さま、その他のサポーターや寄付者の皆さまからのご寄付、および3つの助成金（連合 愛のキャン／森村豊明会／大阪コミュニティ財団）によって実施しました。



2022年度の活動カレンダー

	2022年						2023年							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
学校		卒業式／夏休み		通学（一部、在宅学習あり） 8/22～7/7										卒業式／夏休み
アクセス	奨学生募集	学用品配布					クリスマスパーティー							
								子どもの権利を学ぶ、土曜の補習授業						夏補習
								保護者会＆保護者向けセミナー						

子どもを守る楯であり、 子育ての指針でもある「子どもの権利」



- ✓ 権利を知って経験を語り合うことを通じて、子どもたちはしんどさを表現する力を伸ばし、困った時にSOSを出せるようになってきています。
- ✓ 保護者向けセミナーでは、体罰や暴言以外の方法で子どもたちを育てられるよう、権利を守る育児法を伝えています。



小5の息子は、勉強しなさいと言っても「将来はYouTuberになるから必要ない」と口答え。けんかばかりの日々でした。でも、保護者セミナーで学んだ「子どもの言い分にも耳を傾けながら、親としての考えも伝える対話的な関わり方」を実践すると、関係がグッと改善。今では息子と仲良くすごせるようになり、とてもうれしいです。（トンド地区グレイスさん）

女性に仕事を

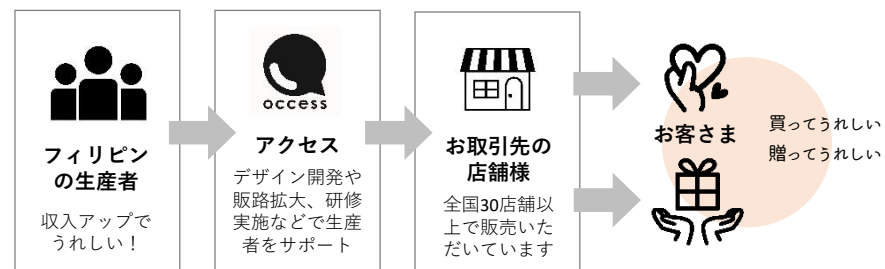
フェアトレード
事業



アクセスの フェアトレード事業

働きたくても仕事のない女性や若者に、
雑貨生産の仕事を届け、生産された品物を
フェアトレード商品として販売。
安定した収入が得られるようにするとともに、
生産者グループとして協働する力の向上に
つなげています。

作る人・買う人・贈られる人
みんながHAPPYになれるのがフェアトレード



2022年度の売上は

221万円
と、過去最大に



オンライン
ストア



実店舗でのお取り扱い状況は季節によって変わります。お近くのショップをお探しの際は、お問い合わせください。

テレビで紹介
されました！

朝日放送のCASTによる
アクセスのフェアトレード特集。こちらから
ご覧いただけます。



▼生産点数
グリーティングカード 7,518点
ココナッツ殻雑貨 270点
▼販売点数
グリーティングカード 6,007点
ココナッツ殻雑貨 444点

日本の若者に 成長の場を

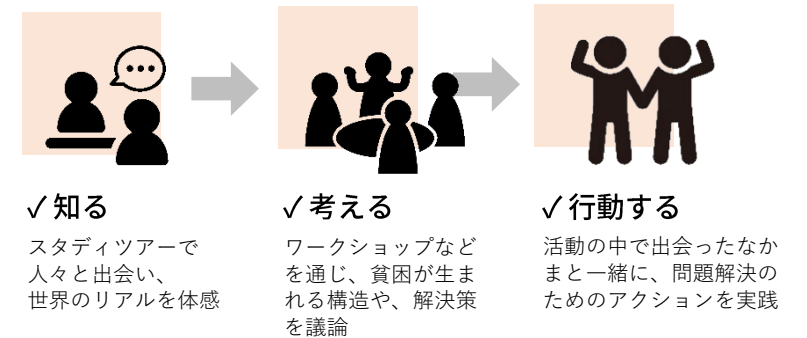


スタディツアー | インターンシップ | ボランティア

日本の若者の 「変える力」を伸ばす

フィリピンの人々の暮らしや想いにふれる
と、世界中の貧困や人権侵害が、他人事とは思えな
くなります。「かわいそうだから助けてあげた
い」を越えて、貧困を生み出している構造に目を向
けていながら、同じ想いを持った人と協力して、
できることから行動にうつしていく。そんな「変える
力」を伸ばせる活動の場をつくっています。

世界を変える、3ステップ



2022年度は

知る 163人が
フィリピンを体感



オンライン＆対面スタディツアー
オンラインと対面でフィリピンの都市スラム
や農漁村を訪問。9回のスタディツアーを通
じたフィリピンの人々との交流で、貧困の現
実やフィリピンの人々の魅力を体感しました。

*連携団体
お茶の水女子大学／京都市教育委員会／龍谷大学
PHLIGHT／立命館大学／関西NGO協議会／立命館高校
龍谷大学／立命館宇治高校 など

戦争の記憶を学び、語り合って

考える



フィリピンで戦争の影響を受けてきた人々の話を聞いて
みて、体験者の気持ちを十分に理解しきれないことを悔
しく思いました。でも、日本が今後どう他国と関わって
いけばいいのかや、戦争をなくすために何をすればいい
のかを考えることは私にもできると感じました。

(オンラインスタディツアー参加者／大学生)

行動
する

17名の若者たちの模索・挑戦
オンラインと対面インターンシップで課題解決

上半期のオンラインインターンシップには、海外留学中の大学院生
から京都の高校生まで11名が参加。後半期は、対面インターンシ
ップを3年ぶりに再開。多様なバックグラウンドを持ったメンバーが、
それぞれの目線で率直に意見を出し合うことで、フィリピンの貧困
問題の解決につながるプロジェクトを成功させました。

第3期：11名 「オンラインコミュニティの運営」
第4期：6名 「フェアトレード事業の課題解決」

インターンの声を動画で>>>



ボランティアが
1,000通以上を翻訳

フィリピンの子どもたちや保護者から届く
メッセージの翻訳は、全国各地の翻訳ボラン
ティアさんが日本語訳してくださいました！

社会人GETが教材開発

GET(Global Education Team) メン
バー3名は、フィリピンの暮らしを楽
しくリアルに体感できるボードゲーム
教材を開発。体験会を3回開催しまし
た。

一緒に歩んでくださった皆さま

アクセスが貧困や人権侵害をなくす活動を継続できているのは、たくさんの方々が活動を応援してくださっているからです。一緒に歩んでくださっている方々の一部をご紹介します。

66名
正会員

759口
サポーター

66名
ボランティア・プロボノ

17名
インターン



ご寄付

資金
本・CD・DVD・ゲーム
書き損じはがき
183件
29件
29件／1,589枚



小柳麻奈さん
チャリティ料理レッスンで
活動を応援

駐在でフィリピンに住んでいた時に目の当たりにしたのがフィリピンのリアルな現状。雨の日でも道路で物を売る子どもたちの姿でした。初めは私には関係ないと思っていましたが、同じ駐在の方がアクセスで活動していると知り、それから私も応援させてもらっています。帰国後の今でも、いろんな形で応援させてもらえるのが嬉しいです。



十代仁志さん
マンスリーサポーター

10年ほど前にアクセスのサポートも得てフィリピンを訪れた際、貧困層の劣悪な生活環境に強い衝撃を受けました。一方で子ども達の屈託ない笑顔に触れ、「心の豊かさ」とは何かを考えさせられました。フィリピンの子どもたちの笑顔を広げようとしているアクセスの皆さん方を応援できればと思い、微力ながらサポートを続けています。

2022年度
活動計算書

2022年4月1日～
2023年3月31日

* 詳細な決算報告書（活動計算書、貸借対照表、監査報告書、財務諸表の注記については、ウェブサイト上で掲載しています。



<https://access-jp.org/about/reports>

収入の部	金額(円)
サポーター費・会費	9,252,621
寄付金	4,878,109
助成金	1,925,000
フェアトレード事業	2,218,036
スタディツアー事業	2,095,570
講師派遣事業収入	301,515
その他	172,672
合計	20,843,523
支出の部	金額(円)
海外事業費	14,007,536
フェアトレード売上原価	1,142,496
国内事業費	6,062,548
管理費	3,262,402
合計	24,474,982
当期経常増減額	△3,631,459
経常外費用	10,000
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	△3,711,459
前期繰越正味財産額	7,289,695
次期繰越正味財産額	3,578,236

サポーター費・会費
子ども教育サポーターが増加したことなどから、活動と一緒に進めてくださるサポーターの人数が過去最高となりました。

助成金
3つの助成団体から子どもの権利啓発事業をご支援いただいたほか、政府からの事業復活支援金100万円にも支えられました。

フェアトレード
フィリピンで手作りした雑貨の販売額が、また過去最大となりました。

スタディツアー
コロナ禍による規制も緩和し、3年半ぶりに対面スタディツアーを再開したことで収入が増加しました。

海外事業費
対面スタディツアーの開催により、現地経費が増加しました。また、物価高騰と円安の影響で、海外事業費全体が膨らんでいます。

国内事業費
貧困問題や人権侵害に関心を持つ若者を主な対象に、講演・インターンシップの受け入れなどを行いました。



薬院オーガニック株式会社



株式会社 オルタナティブツアー



BRANCHES
ブランシェス株式会社



ライフティ株式会社

1999

sisam

FAIR TRADE + design

有限会社 シサム工房



株式会社ココウェル



株式会社ビジネスパートナー



一般財団法人H₂Oセンター



ブックオフコーポレーション株式会社



環境創研株式会社

環境創研株式会社



株式会社 大闘



Lead Cycle 株式会社

■2022年度にご支援いただいた助成団体

公益財団法人 森村豊明会 「フィリピン都市貧困地区における子どもにやさしいコミュニティづくり事業」
連合「愛のカンパ」 「フィリピンの貧しい農漁村における、子どもによる、子どものための、子どもの権利意識向上事業」
公益財団法人 大阪コミュニティ財団 「フィリピンの農漁村における就学支援と子どもの権利促進事業」



ロゴに込めた思い

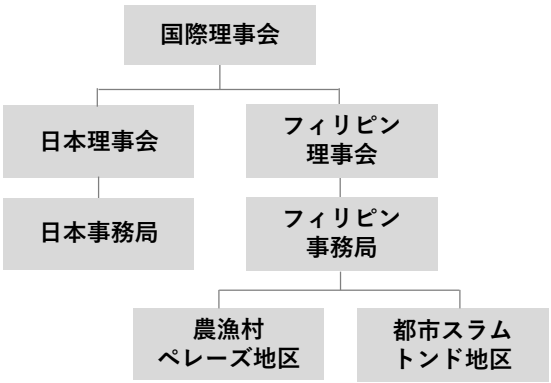
ふきだしの形は、「みんなで話し合うことを通じて活動を創っていく」というアクセスのスタイルを表現しています。「活動を通じて支え合う関係をつくり、その中で笑顔をふやしていきたい」という思を込めて、ふきだしがニコッリ笑っているようなデザインになりました。

組織概要

認定NPO法人
アクセスー共生社会をめざす地球市民の会 （2023年12月時点）

所在地 612-0029 京都市伏見区深草西浦町8-85-4
TEL 075-643-7232
設立 1988年10月1日
法人格取得 2000年2月7日
認定取得 2016年8月10日

理事長 野田 沙良
常務理事 森脇 祐一
理事 位田 浩 片岡 卓三 倉辻 悠平
崎山 政毅 白坂 有子 新開 純也
杉山 遼 田中 雅規 西村 知晃
廣瀬 昌代 松本 祐子
監事 藤野 正弘
日本事務局 森脇 祐一 野田 沙良 竹内 彩帆
中村 智子 塩田 真也



日本とフィリピンの
スタッフをHPで紹介しています！
<https://access-jp.org/about/staff>

一緒に
届けてください



生きる力、変える力をフィリピンへ

学びたい、働きたい、貧困をなくしたい。
そんな願いを持った子どもたち、女性、若者たちの
力を伸ばすアクセスの活動は、みなさまからのご寄付に支えられています。
一人ひとりがもつ「生きる力・変える力」を引き出していく活動を
ぜひいっしょに広げてください。



1000円で
給食10食分に



月1,000円×1年間で
働きたい女性3人のための
フェアトレード商品生産研修に



月3,000円×1年間で
新品の通学靴36足分に

＼ ご支援くださった方には、報告書やメールニュースで、活動の様子をお届けします ／

マンスリー
サポーター
募集中！

今回だけのご寄付も
大歓迎です



ご寄付の40%が控除に

月1,000円のご寄付を1年間すると、
最大約5,000円の控除がうけられます。

アクセスは京都市から認定を受けた「認定NPO法人」です。
認定NPO法人へのご寄付は、税控除の対象となります。

▼郵便振替

00960-8-159800 加入者名 ACCE